

待望の早生品種決定版！着果・収量・食味抜群

あじびびき

味響



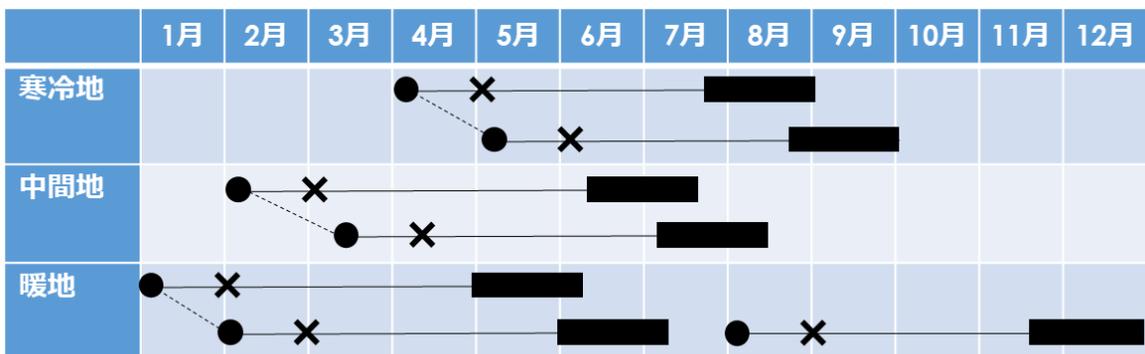
【特 徴】

- 1.果実は1.8kg前後の整った扁円形、果皮色は濃緑色、斑の入る風情ある外観。
- 2.積算温度950度目安、交配後40日～収穫できる早生種。
- 3.草勢は中位、側枝が強く発生しすぎず管理作業が容易。
- 4.低温期からも花粉が安定して発生し、着果よく多収となる。
- 5.果肉は濃黄で調理後も色鮮やか。粉質で甘みも強く非常においしい。

【栽培のポイント】

- 1.肥料は窒素成分で10a当り12～13kgとやや多めとして有機肥料を中心とする。
- 2.草勢をやや強めに維持し、着果数を確保して多収を目指す。
- 3.草勢を確保してからの着果がよく、株元90cm(12～13節)から着果させるのが望ましい。
- 4.草勢が弱くなると2番果が小さくなるので、草姿をみながら追肥をする。

【適作型】



●：播種 ×：定植 ■：収穫

味響 現地試験栽培の様子

【耕種概要】

播種：8月9日

定植：8月19日

栽植本数：700～800本/10a

整枝方法：親づる1本整枝

株間：50cm

畝間：350cm

8月19日定植の様子



9月13日定植の様子



収穫果実



北海道調査データ（2021）

試験地：森町、整枝方法：親づる3本仕立て、栽植密度413本/10a

品種	収穫 個数	1果重 (g)	一株収穫 個数	乾物率 (%)	反収 (t/10a)	糖度 (Brix%)
早生品種K	19	2209	1.9	29.5	1.73	16.1
味響	26	2268	2.6	30.9	2.44	15.3

味響の特徴

- 整枝作業、管理作業が簡単
- 雌花雄花の開花時期が合いやすく、着果性も良いので作型問わず栽培できる
- 早生品種ながら果皮色濃く、糖化も極端に早くないため出荷時期を調整できる